道路ユーザーネットワーク広場

NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK

☆三好礼子の☆ ナチュラル・ロード

いつもトレランスタイルの私。戴いた有機野菜持ってニッコリ。

三好礼子
エッセイスト・国際ラリースト
～http://www.fairytale.jp/～

雪も舞い始めた今日この頃。「この人が今年最後のライダーさんかも。気をつけて帰ってね～」。バイクの姿が見えなくなるまで見送って、店じまい。この春から始めたカフェを、私も時々手伝っています。トレランレース開催は土日なので、偉そうに言えませんが、この秋開催の１００マイルレースを膝痛のためキャンセルしたので、できるだけ顔を出していました。役立っているかどうかは分からないのですが、賑やかしのように通っています。「お前がいるとウルサイ（店長の夫）」そうですが、お客との語らいはとても楽しい。

何気に話したその人の人生があまりに面白くて、気が付いたら知らない人もどんどん参加して、カフェ談義。自然・スポーツ・病気・畑・家族・暮らし・悩み事と分野は多岐に渡り、いつも巡り会うべくして巡り合ったとしか思えない会話となります。帰る時には何だかみんなスッキリ！病院のルーツはホテル（ホスピタリティー）ですが、カフェもまたそんな役割がありそうです。

以前住んでいた朝霧高原でも10年ほどカフェをやっていました。看板は出していなかったので、探し当てるのは至難の技のライダーズカフェ。観光地なのでいっぱい来すぎると対応できなかったからですが、富士宮やきそばを活かしたメニューと絶景の富士山と放牧山羊や鶏を眺めつつ寛げる異空間でした。どちらも地元の新鮮な食材を使い、心身共に再生してもらいたいのは一緒。やはり、ホスピタルなのでしょう。

今の松本のカフェは、当初山羊チーズの加工所として考えた市役所所有の店舗でした。老朽化が進んだため取り壊す寸前に「待った」を掛けて借りたのですが、飲食店が営業しなくなって数年で、かなり凄い状況。でも、なぜかピンと来て、「まずはカフェをやって、山羊たちの乳が安定してから加工所のことは考えよう（一緒の場所では保健所的に不可）」となりました。朝霧のカフェ食器や器材はすべて置いて来たので、一瞬「どないするねん」と思ったけれど、「遊びに行きたい」と言ってくださる方のお声で、再びハチマキをぎゅっ。最低限の改装で、開店にこぎつけました。

さてご近所さんに挨拶に行くと、開口一番に「え、あそこで営業するの…」と暗い顔です。「え、もしかして…出るんですか（オバケ）」と私。「いや、お客…来ないよ」という話が出るほど、「お客期待ゼロ」からのスタートでした。確かに松本市の北東に位置する人口5千人弱の四賀地区（旧四賀村）。かつては東山道で栄えた宿場町ですが、今は上田市に通じる峠は冬期閉鎖だし、高速の長野道や国道４０３号＆19号もあり、こちらを通る人は僅かです。町にはコンビニ・スーパー・温泉が各一件あるのみ。珍しいマッコウクジラの全身骨格が自慢の「松本市四賀化石館」や松茸はあるけれど、観光客はわずか。でも、それはそれでやる気が起きました！

そして開けてみれば、関東方面の方は遠くなったけれど、名古屋や新潟方面からがぐっと増え、ライダーさんもこの田舎にやって来てくださいました。化石館にきた人や、たまたま通りがかった人も入ってきます（以前は通りすがりは皆無）。嬉しいのは、地元の方が多いこと。「昔はそば屋さんだったね～」と言いながらやってくる老夫婦。地場の有機野菜や山羊チーズは、Ｉターンの方だけでなく、10キロ20キロ離れたところからも買いに来てくれる方が！　気が付いたら、「お客ゼロの日がない」という奇跡が起きました！これから冬になりますが、地元の「是非やってよ。灯りが無くなると寂しい」と言う声を聞き、冬期オープンも決定。暖房費や仕入れ代の方が掛かりそうですが、面白い人に沢山逢いたいので頑張ります。

山羊チーズ造りだけを考えて、たまたまやってきた四賀ですが、12月で丸２年。山羊の放牧地は冬場陽が当たらず、カフェで山羊たちを見学出来ないなど課題はありますが、動いていればいつかきっと解決するでしょう。来年もトレラン大会出場の合間を縫ってのお手伝いになりそうですが、とりあえずお客さんに出す野沢菜は37キロ漬けた！リンゴジュース２００本は今週製造します！珈琲講座もバッチリ受けた！トレランも面白いけれど、お客も地元も面白くて、カフェって本当に飽きませんね（商いは飽きない？）。

全国各地から集まってくる『Apple Ciders』のライダーたち。朝霧時代からのお馴染みさん。

関西からテント積んでやってきた無茶苦茶カッコいいサイドカー。人間ももちろん見惚れました。

化石館をもじったアンモナイトベーグル。地元の小麦粉、チーズ造りで出たホエーで作っています。

チーズケーキと珈琲で、地元の方が４次会！さり気なく寄ってくださるのが嬉しいね。

我家の山羊たち。この光景を見ながらお茶してもらうのが夢。いつかライターハウスもやりたいな。

安全で快適な都市空間・地下街

フリージャーナリスト
湯浅玲子

寒い季節に重宝するのが屋外を歩くことなく移動できる地下街です。東京や大阪には、いくつかの地下街が複雑につながった巨大迷路のような地下街もあります。単独の地下街としては全国5位の広さを誇るのが福岡の都心・天神にある天神地下街です。

天神地下街は、以前このコラムでご紹介した「渡辺通り」という人名を冠した大きな通りの下に造られています。福岡市の地下鉄整備に合わせて1976年に開業し、2005年には南へさらに延長されました。長さ約600メートル、延床面積は約5万3000平方メートル。南北に走る2つの通りには150店以上の店が立ち並び、1日の歩行者通行量は約40万人もあります。

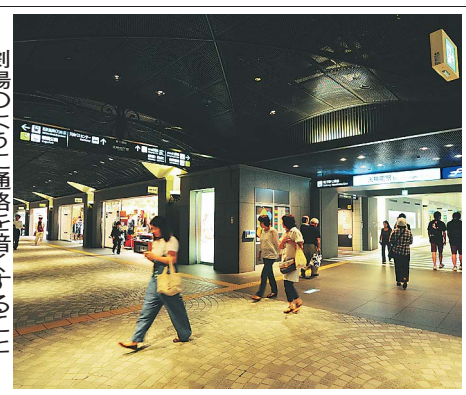
もともと地下街は自動車などの交通機関と歩行者を安全に分離し、利便性を高めるために発達してきました。都市に人口が集中し、自動車の数が急増した大正末期から昭和初期にかけて、歩行者だけが通行できる地下道が計画されるようになります。交通量の多い道路を安全に横断するため、地下に歩行者専用道路を造ろうという考え方です。

けれども暗くて人通りが少ない地下道には治安上の不安があり、女性や子どもが利用するには問題がありました。そこで通路に電灯や店舗を設置することで安全対策をしたのが、現在のような地下街の原点です。大阪の順慶町地下道がその始まりといわれています。さらに日本で最初の本格的な地下街は、上野駅に１９３０年開業した上野地下街（地下鉄ストア）だとされています。総延長５００メートルで、地下鉄や市電などともつながっていました。

福岡に天神地下街ができた当初、多くの人が驚いたことがあります。それは通路の照明が暗かったこと。当時、全国各地の地下街は地上のように明るくすることが普通でしたが、天神地下街は通路の照明を暗くし、劇場のようにライトアップされた店舗を際立たせたのです。加えて19世紀のヨーロッパをイメージした南欧風の石畳や唐草模様の天井など、斬新な工夫やデザインが各所にありました。

開業当初は「通路が暗い」「石畳がゴツゴツして歩きにくい」という声もあったようですが、今ではその独特の風情が多くの市民に愛されています。ヨーロッパ風のおしゃれな雰囲気は誕生から40年を経た今も古さを感じさせません。寒い冬の日だけでなく、暑い夏の日も、雨が続く梅雨の時期も、安全で快適に歩くことができる地下街が私たちの都市生活を支えてくれています。

（写真提供：福岡市）


劇場のように通路を暗くすることで店舗を美しく見せる

美しい欧風の石畳と唐草模様の天井が特徴の天神地下街

ハッと思いました

毎年のことですが、もう師走です。時の流れが速く感じてしまうお年頃です。

何処のお宅も新年を迎えるための準備で、多少は掃除をします。師走は一年間の総仕上げですから。

小さな子供がオモチャを広げて無邪気に遊んでいる情景を思い浮かべてみてください。お母さんがそろそろ食事だからオモチャを片付けなさいと子供に言います。しかし子供は片付けとか掃除するとかは、理解しないのか、出来ないのか、全く片付けようとはしません。大人も同じです。出しっぱなし、使いっぱなしの事が多くはありませんか。

ニュースにも取り上げられるゴミ屋敷などは、意識的に片付けない、ゴミを集めているわけなので、子供のそれとはかなり次元が違いますけどね。

さて子供の場合は、お母さんがやさしく落ち着いて子供に次のように語りかけます。「明日遊ぶときにすぐにオモチャを出して遊べるように準備しましょうね。」そうすれば子供は楽しく片付けるものです。何故、片付けるのかを説明すれば子供も理解して行動します。つまり、片づけが目的ではなく、次の遊びが目的になるのです。

しかし、どんな目線でもどんな言い回しでも、変わらないものもあります。それは、飲酒運転。

年末年始は特別の期間で何でも許されると勘違いしている人も多いかと。絶対に許すな。飲酒運転！！！！

飲酒の基準は世界各国で様々ですが、これぱかりは、白か黒、低い濃度であっても許されるラインがあってはならないと考えています。飲酒と酒気帯びがある事が不思議です。

違いで受け取り方が変わってしまいます。面白いですね。

もう一つ、免許とは何なのか？と首を傾げる事も多々あります。

無免許は言い訳無用の反則ですよね。ところが無免許でも運転の技術が備わっていたとか何とか言って、事故を起こしても危険運転とならなかったり、凡人には到底理解できない現実がある事に、首は傾き過ぎて折れそうです。

今日は無事でも明日は、被害者にも加害者にもなり得るのですから、とにかく、先ずルールは守りましょう。そして、決して自分を過信しないことです。

今年を綺麗に終わり、新年を迎えましょう。来年は何か素敵な出来事がお届け出来る事を期待してます。